

葵スプリング株式会社

バネの変形で生じる力が 家電や電池の性能を下支え

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



最新鋭の設備でバネの高機能化を実現

業務内容 家電産業の 成長とともに規模を拡大

葵スプリングの生産するバネは一見してバネとわかる形状のものから、銅線と見間違えるような精密な製品までその種類は幅広い。バネ本体と土台部分の加工のほか、この二つの部品の組み立ても行う。バネの変形で生じる力を利用して対象物を固定する特性が評価され、大手電機メーカーが生産する白物家電のほか二次電池にも採用されている。昭和28年の創業以降、家電産業の成長とともに最新鋭の設備を導入しながら規模を拡大した。「先代社長は増産を目的にした投資をしていたが、現在は生産効率と技術力の向上を目的にした設備投資に力を入れてい」と青戸隆章社長は語る。

強み 特殊材料にも取り組む

線径0・1mm〜4・0mmまでの線バネ加工や板厚0・15mm〜1・0mmまでの絞り製品が得意。またプラスチック加工技術も強みのひとつとしている。1個の試作から100万個の量産品まで幅広く対応。数量で受注を断ることはない。タンクステンやチタンなど硬度が高く、加工が難しい材料にも果敢に挑戦する。青戸社長は、「大学の研究所から試作を依頼されることもある」と語る。小ロットの加工を専門とする社員が2人おり、他社がなかなか引き受けない仕事に取り組んでいる。この高度な技術に取り組むのは、30代と40代の社員。多くの企業が直面

する問題である技能継承を順調に進め、結果を出している。

品質管理 バネを採用した 製品の勉強会を開催

取引先から信頼を得るため、バネ技術検定の取得を推進する制度を設けている。試験費用は会社が負担するほか、合格者には報奨金を支給。社員の取得率は、約80%と高い水準で推移している。さらに、月1回程度の部品用途勉強会を開催。時には取引先を交えて、勉強会を開くこともある。青戸社長は、「白物家電など当社のバネが使われている製品そのものについて学ぶこともある」と実例を挙げる。製品の中で果たすバネの役割を確認するねらいがあるためである。



素材やサイズに関わらず多様な加工を提案

今後の展望 職人と機械の調和が課題

主力製品のバネ製造技術を生かし、環境エネルギーや医療分野への展開を目指しているところ。両分野に取り組むため、新規設備の導入も視野にある。さらに職人と機械の調和を課題としており、作業の省力化を積極的に進めている。青戸社長は、「コスト競争力を高めるため、できるだけ無人化生産をめざしたい」という思いが強く、一人あたりの稼働設備を3台〜4台にした。また複雑な検査に対応できる測定機器や省力機器を導入することでヒューマンエラーの低減を図っている。

COMPANY PROFILE

葵スプリング株式会社

大阪26

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

創業者は他のバネメーカーから独立し、東大阪市で農機具のバネ製造でスタートしました。以降、大手家電メーカーの洗濯機や炊飯器などの家電製品、二次電池などの部品を供給しています。平成16年に八尾市に本社工場を移転。環境面を重視した設備投資を行い、自動化と省力化に取り組んでいます。

創業100年に向けて「機動力・スピード対応・高品質」な部品を供給。「バネなら葵さんへ」と言われる会社を目指します。

代表取締役社長 青戸 隆章さん



■主な事業内容

線バネ・板バネ・線加工品、プレス加工、組み立ての設計・製造・販売

■主な取引先（納入先）

電池メーカー、家電メーカー、自動車部品メーカー、医療機器メーカー、住宅設備メーカーなど

住所／〒581-0037
八尾市太田7-18
TEL／072-949-8801
FAX／072-949-8802
創業／昭和28年3月
設立／昭和31年3月
資本金／2,400万円
従業員／33名

<http://www.aoi-spring.co.jp>